

9月は「世界アルツハイマー月間」です 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり

皆さんは、「認知症」にどんな症状があるか知っていますか？また、「認知症」にどんなイメージを持っていますか？

認知症は、加齢とともに増える脳の病気です。日本では、65歳以上の高齢者のうち、認知症の人の数は600万人（令和2年現在）と推計されています。令和7年には約700万人、およそ高齢者の5人に1人が認知症になると予測されています。身近な病気のひとつとして、認知症について学んでみませんか。

学び場①

「上野図書館特設コーナー」

9月のテーマは「認知症」



◆認知症の人の症状や気持ちを知る

○『ボクはやっと認知症のことがわかった』 自らも認知症になった専門医が、日本人に伝えたい遺言
長谷川和夫著 猪熊律子著
これまで何千人もの患者を診てきた認知症の専門医は、認知症になつて何を思い、どう感じているのか。自身の半生や生き方、日本の認知症の歴史に触れながら、日本人に伝えたい「遺言」を語る。「読売新聞」連載を加筆し書籍化。

○『丹野智文笑顔で生きる』

認知症とともに 丹野智文著
39歳で若年性アルツハイマー病になったトップ営業マン。選んだ

のは認知症を悔やむのではなく、認知症とともに生きるという道。家族、会社、仲間たち…。笑顔を取り戻すまでのドキュメント。

○『認知症世界の歩き方』

認知症のある人の頭の中をのぞいてみたら？

寛裕介著

認知症未来共創ハブがほかに乗るとだんだん記憶をなくすミステリーバス、距離も方角もわからなくなる二次元銀座商店街…。認知症のある人が経験する出来事を「旅のスケッチ」と「旅行記」の形式にまとめ、だれもが身近に感じるストーリーで紹介する。

◆認知症の人が暮らしやすい 地域社会を知る

○『認知症フレンドリー社会』

徳田雄人著

超高齢社会では認知症の人が多くなるという。ならば社会を、認知症の人も普通に暮らせるものに変えてみるのはどうだろう。英国での画期的な実践や日本全国の先進的な地域を紹介し、認知症の人が暮らしやすい仕組みを提言する。

○『注文をまちがえる料理店』 忘れちゃったけど、まちがえちゃったけど、まあいいか
小国士朗著
まちがえることを受け入れて、まちがえることを一緒に楽しむ。2017年6月に2日間限定でオープンした認知症を抱える人が接客をするレストランで、本当にあったものがたりを紹介。企画の発起人である著者の解説も掲載。

◆子どもと一緒に認知症を学ぶ

○『マンガニンチショウ大使れも参上！』 知ってる？認知症
高橋由為子著・マンガ 菊地蔵乃介解説・監修

○『だいたいぶぶだよ』 ぼくのおばあちゃん
長谷川和夫著
池田げんせい著

※図書紹介文は「株式会社図書館流通センター新刊全点案内」より引用しています。

特設コーナーに設置している図書の一部です。他にも多数の蔵書があります。

学び場②

「認知症サポーター養成講座」

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者のことです。養成講座では、認知症の症状や対応方法について、講話や寸劇を通して学ぶことができます。



受講生募集！

【と き】 10月8日(土) 午後2時～3時30分
【と ころ】 ゆめぼりすセンター2階
【講 師】 キャラバン・メイトいが
【定 員】 先着30人
【申込開始日】 9月12日(月)



講座修了後、認知症サポーターの証として「オレンジリング」(左)、または「認知症サポーターカード」をお渡します。

【申込先・問合せ】

地域包括支援センター
南部サテライト
☎ 52・2715 FAX 52・2281



「キャラバン・メイトいが」は、認知症になつてもお互いに支え合い、寄り添いながら生活できるまちをめざす地域のボランティア団体です。

10名以上の団体(企業・地域など)に対して、随時、認知症サポーター養成講座を実施しています。詳しくはお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。

学び場③

「アルツハイマー月間パネル展示」

認知症の種類や症状、参考図書、伊賀市内で実施している認知症カフェなどをパネルで紹介します。

【と き】 9月20日(火)～30日(金)
開庁時間内(閉庁日除く)
【と ころ】 本庁舎 1階ロビー



にんサボくん

予 告

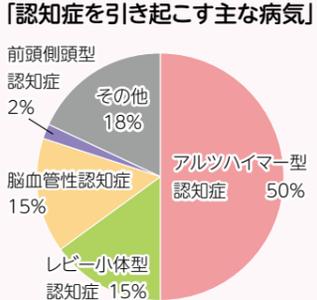
【認知症講演会】

11月13日(日)午後2時～3時30分
サンピア伊賀で開催予定
詳しくは広報いが10月号をご覧ください

コラム

認知症とアルツハイマー

「アルツハイマー」は認知症を引き起こす主な病気のひとつです。



※「認知症サポーター養成講座標準教材」を参考に作成

円グラフのように、認知症の原因となる病気は複数あります。認知症の主な症状は「もの忘れ」ですが、原因となる病気によって現れる症状も異なります。見えないものが見える「幻視」や、人格の変化が起こる病気もあります。

人にはそれぞれ個性があるように、認知症の原因も症状もそれぞれです。認知症の人の「共生」社会を生きるために、みんなで認知症について学びま

【問い合わせ】
地域包括支援センター
☎ 26・1521 FAX 24・7511
hokatsushien@city.iga.lg.jp

